

「地域力共創推進コンソーシアム」の紹介

改訂4 平成23年4月25日

初発行 平成19年6月18日

1. 基本コンセプト

社会システムのパラダイムシフトが進む中、地域の産学官連携の境界領域をサポートする機能として期待が寄せられる「民」=NPO・ボランティア・コミュニティビジネスなどなど・・・。

それらを有機的かつ包括的にカバーする【地域力()】という「くくり」と「視点」が地域蘇生に不可欠という認識の下で、わたしたち地域力共創コンソーシアムは【地域力共創】を志向するコンセプトをめざします。

: 次頁参照

2. コンソーシアム構成

(1) コンソーシアム代表 黒沼 貞志:

有限責任事業組合(LLP)山形ふるさと企画舎 代表 (有)SKソリューションズ 代表取締役

(2) コンソーシアム構成

有限責任事業組合(LLP)山形ふるさと企画舎 (代表 黒沼 貞志)

掲載URL: <http://www.sk-solutions.org/>

AISOHO 企業組合 (代表理事 菅野 美奈子)

URL: <http://www.aisoho.jp/soho/>

蔵 オビハチ「灯蔵」(伊藤 りえ)

URL: <http://ojisho.com/kuraobi.html>

山形コミュニティ放送株式会社 (取締役専務 玉井 優)

URL: <http://www.fm762.co.jp/>

おきたまラジオNPOセンター (代表 山口 充夫)

URL: http://homepage.mac.com/okitama_radio/top.html

3. 平成23年度コンソーシアム事業内容

スタートして6年目に入った当コンソーシアムは事業のコンセプトを次のように継続して設定しております。

“ 「コミュニケーション・プラットフォーム」の再生 ”

情報化技術(ICT)の進歩とは逆行する方向で「人々のコミュニケーションの希薄化」が進行しています。

情報化技術はあくまで手段であるとの認識の下で「他者とのコラボレーション」する力を共創するコミュニケーション・プラットフォームの再生に関わる事業として次の3事業をその目的/手段の関係を明確にして遂行します。

(1)「One Coin 地域力 カフェ」開催事業

<Face To Face> のコミュニケーション

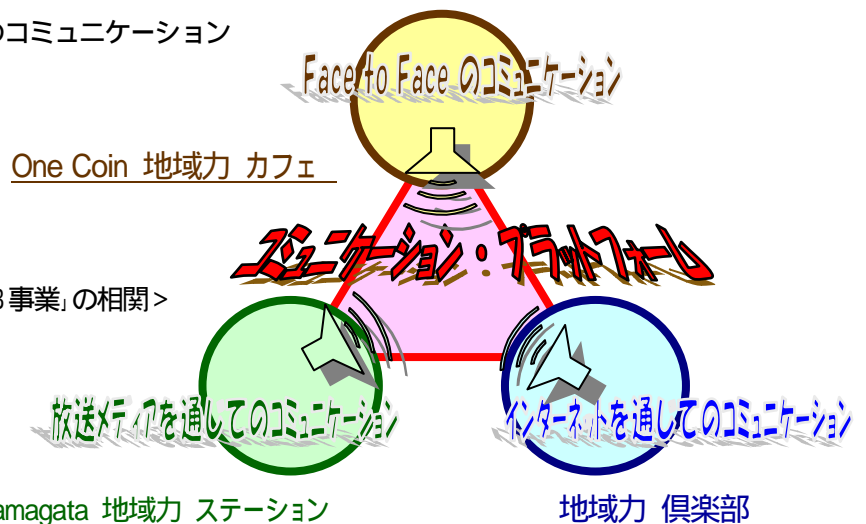
(2)「Yamagata 地域力 ステーション」運営事業

<放送メディア> を通じてのコミュニケーション

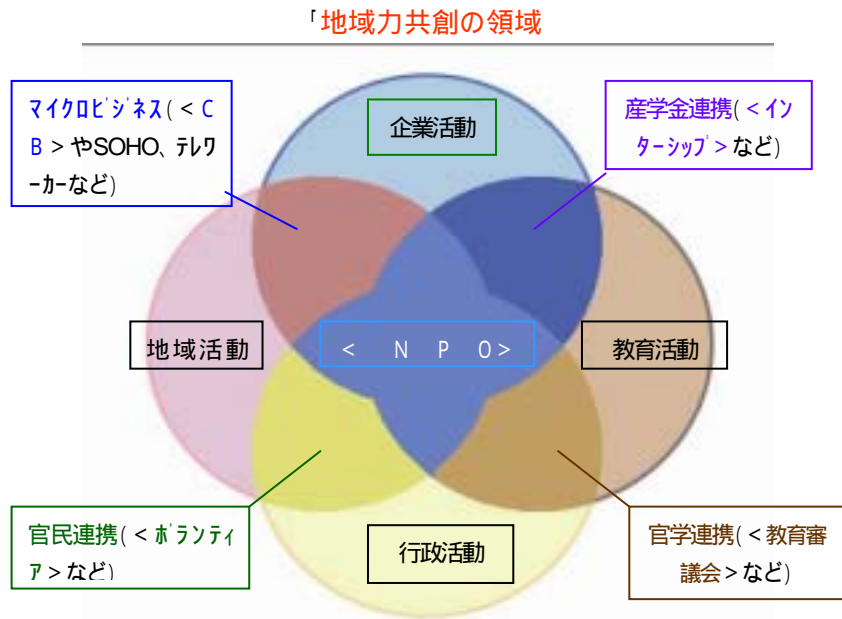
(3)「地域力 倶楽部」運営事業

<インターネット> を通じてのコミュニケーション

< 「コミュニケーション・プラットフォーム3事業」の相関 >



<地域社会を変える力(地域力)の相関>



4. コンソーシアム事業と構成メンバー (&サポーター) の主たる業務分掌

事業名 構成メンバー	Face to Face の コミュニケーション	放送メディア を通じたコミュニ ケーション	インターネット> を通じた コミュニケーション		
	One Coin 地域力 カフェ	Yamagata 地域力 ステーション	メルマガ 配信(地域力 倶楽部)	カフェの収録映像 配信@「インター ネット活用交流 会」のWeb サイト(Ustream)	事業案内 結果掲載
(LLP)山形ふるさと 企画舎 <主として黒沼>	企画・実行	企画・実行	企画・実行	企画・実行	企画・実行
AISOHO 企業 組合 <主として菅野>	企画・実行				企画・実行
蔵 オビハチ 「灯蔵」 <主として伊藤>	会場提供				
山形コミュニティ放 送株式会社 <主として玉井>		番組枠提供・ 収録・放送			
おきたまラジオ NPOセンター <主として山口>	企画・実行				企画・実行
サポーターズ	参加・収録(編集)			Webサイトへのアップ	